

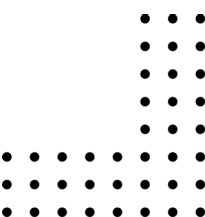
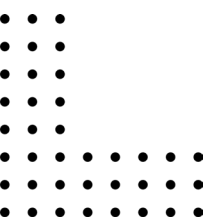
浜通り環境放射線研修2025

成果発表会

9月大熊E班

木村隼人 島崎航 吉川向日葵

辻陽也（チューター） 船橋憲子（チューター）



グループの話し合いで出た ひとつの問いかけ

そこにあったはずのものが
なくなるとはどういうことだろうか？

◎空虚感・繋がり

人とのつながりが失われたとき、なぜ空虚感を感じるのだろうか？

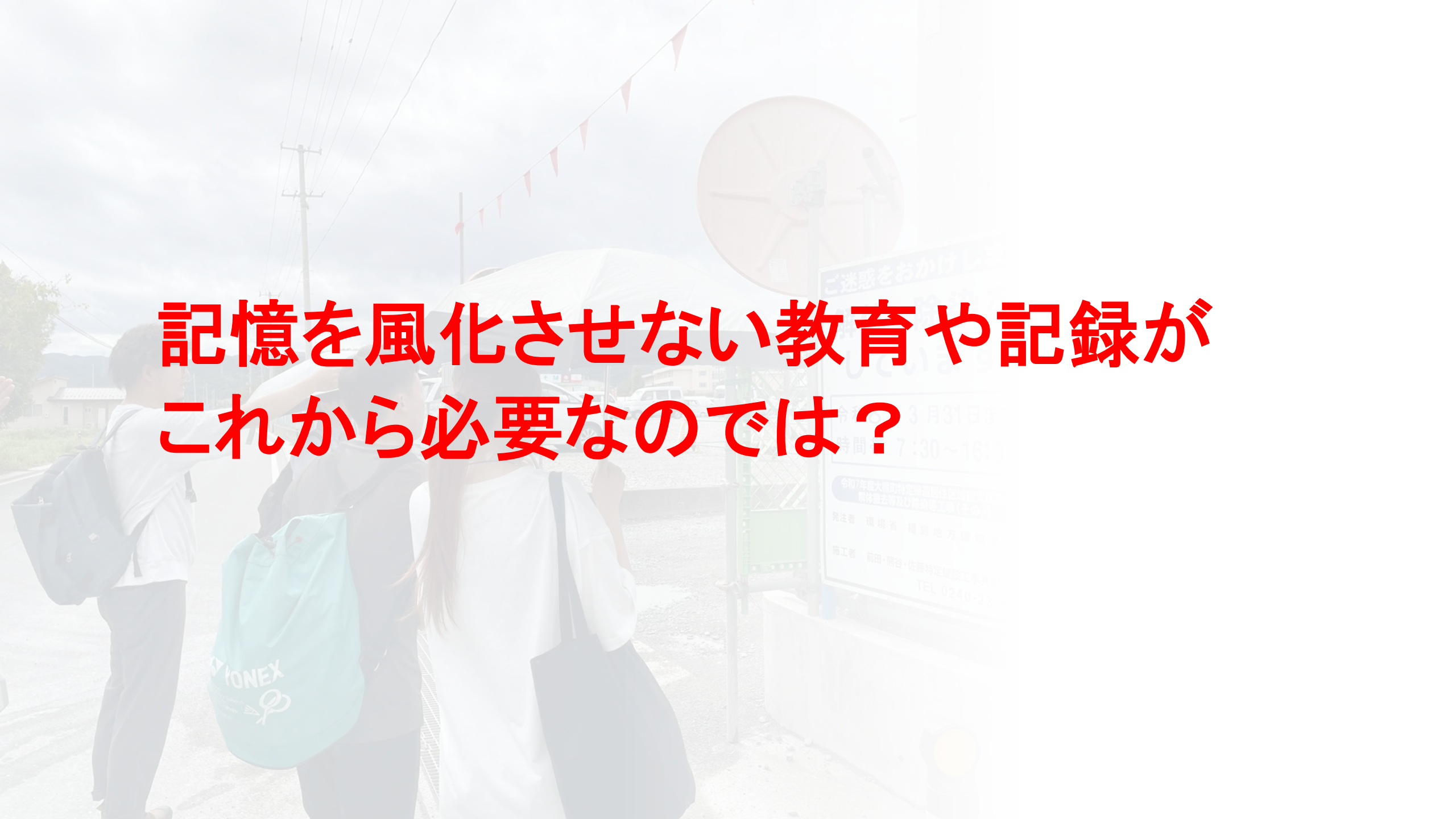
振り返りの会で出された意見

- ・思い出が残っているため、思い出してしまう。
- ・元々あった繋がりを惜しむ気持ち
- ・世界の見方が良くも悪くも変わり、新しい見方が生まれる。

では、心の中で、空虚感が広がるのはなぜだろう？

振り返りの会で出された意見

- ・ 繰り返し考えることで思い出が美化され、自分に都合のいいように思い出を作り変える。
- ・ 時が経つにつれて世間から忘れられ、認識されなくなっていくことが悲しく感じる。

The background image shows a school entrance on a cloudy day. In the foreground, three students are walking away from the camera. A boy on the left wears a white shirt and a dark backpack. Two girls follow him; one carries a large teal tote bag with the 'YONEX' logo, and the other carries a black bag. They are walking on a paved path. To the right, a green gate is partially visible, with a large white satellite dish mounted on a pole behind it. A blue and white sign is attached to the gate, containing Japanese text and a phone number. A string of red triangular flags hangs from a pole in the background.

**記憶を風化させない教育や記録が
これから必要なのでは？**

安心／安全とは？

安心 落ち着く（主観的）

安全 目に見える対策（客観的）



- ・ 安心したいから、安全を確保したいのではないか？
- ・ 安全とは妥協である

安心したいから、安全を確保したいのではないかな？

災害が起こっても大丈夫と思いたい

→高台だから、今までに起こった事例がないから大丈夫（主観的）

自然だからこそ、何がおこるのかわからない（客観的）

安全とは妥協である

企業なども安全が保障できる数値を発表し、基準値を決めている。

（作った側が科学的・客観的に問題ないとしている）

原発事故では、想像を超える自然災害により、発生した。

除染土には放射性セシウム濃度が1キロあたり8000ベクレル以下を基準としている*。

→あくまで再生利用できるだろうという基準が設けられている

*環境省, 復興再生利用に係るガイドライン, 2025年3月

同じことを繰り返さないために

私たちにできることは伝えていくこと

何を伝えるのか？

震災で起こったこと、前を向いて復興に取り組んでいること

→ 一人でも多くの人に東日本大震災で起こったこと、自然災害について考えるきっかけや現在の状況を知ってもらうことが重要（この先も人から人につなぐために）

予想をはるかに超える津波によって起こった原発事故
これは、他の県の原子力発電所にもいえるのではないか？

今日の現状

- 程度の差はあれど誰もが地元にも愛着を持っている。
- 原発や、震災の被害がなくとも、全国各地で過疎化, シャッター街の拡大が進んでいる。
- どちらも、「ふるさと」が消えていってしまうことに対して不安や寂しさを感じる。

原発事故から現在まで

- 原発事故によって全村避難を命じられた原発からの半径20kmの地域
- 「数日から、長くとも数週間あれば帰れるだろう」そんな思いからほとんどの物は持たずに、一時避難を行った。
- 原発事故から14年、少しずつ帰還可能地域は増えていっているものの、未だに帰還困難地域に指定されている場所が多い。
- 双葉町,大熊町にまたがる総面積約16km²もの中間貯蔵施設に住んでいた方々は45年までは帰れる保証はない
- 「がれきの下から声が聞こえた」救助をすれば助かったかもしれない。しかしそれすらも許されなかった。

私たちがすべきことは

- 震災は一瞬のうちに訪れる、抵抗することすら許されずに避難を余儀なくされる。

しかし、

- 寂れていく街には、特産品の創出, 観光地化などを目指す。
- 農業の衰退があるなら、6次産業化などで、自立できる農業を目指したり、推進したりする。など衰退に対して抵抗が出来る

ご清聴ありがとうございました